

自治体間連携協定締結
滝沢市と共通返礼品提供へ



共通返礼品のワイン各種



◀町のふるさと納税
についてはこちらから
(町HP)



協定書を手にする鈴木町長と武田市長

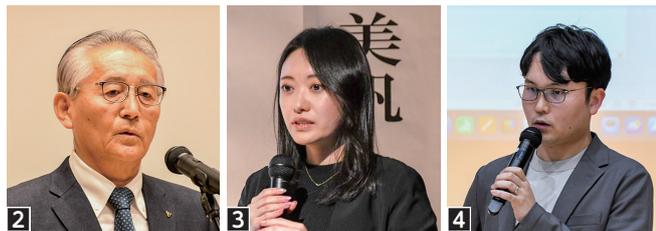
このたび共通返礼品として提供される商品は、(株)岩手くずまきワインが製造する滝沢りんごワインと山ぶどうワインのセットで、いずれかの市町に対しふるさと納税として寄付をすることで、両市町ならではの味わいを楽しむことができます。

1月8日、町は滝沢市と「ふるさと納税の共通返礼品に関する自治体間連携協定」を締結しました。同日、滝沢市役所において締結式が行われ、両市町は今後の連携の深化に向け、結束を新たにしました。

滝沢市の武田哲市長は「葛巻町とは、滝沢市産りんごを使用したワイン製造など、地域資源を生かしたつながりを深めてきた。今後も地域産業振興に関する連携を進めていきたい」とあいさつ。続いて、鈴木重男町長は「この協定により、ふるさと納税の増加や関係人口の拡大へつなげるとともに、両市町の連携や交流が一層深まることを期待する」と述べ、今後のさらなる連携強化に期待を込めました。

くずまき観光
地域づくり協議会

データ活用で未来志向のまちづくり



1実践を想定したワークショップ 2あいさつを述べる觸澤副町長 3講演会講師の畠山さん 4ワークショップ講師の野上さん

くずまき観光地域づくり協議会（会長・觸澤義美副町長）主催のDMO講演会が1月9日、まき×まきホールで開かれ、まちづくりに関心のある町民や町若手職員など約30人が参加しました。冒頭、觸澤副町長は「DMO事業は10年目。今後も柔軟に取り組んでいくため、学びを深める機会にしてほしい」とあいさつしました。

第1部では（公財）岩手県観光協会アドバイザーの畠山美帆さんがデータに基づいた政策形成の重要性やその効果について具体例とともに説明。続く第2部では、同協会アドバイザーの野上経芳さんが講師を務め、実践を想定したロジックモデルの構築に挑戦しました。参加者は意見を交わしながら事業の目的や成果を整理するプロセスを体験し、今後の実践につながる視点を得ていました。

※ロジックモデル…事業の流れや成果を整理する考え方